第8回地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会会議録

1. 招 集 年 月 日 令和6年2月5日

1. 招 集 の 場 所 議員全員協議会室

1. 開 会 令和6年2月5日

午前10時1分

1. 散 会 令和6年2月5日

午前11時38分

1. 出 席 委 員

委員長 兵頭 学

副委員長 加藤 美香

委員 和気 数男

委員 信宮 徹也

委員 宇都宮俊文

委員 中村 一雅

委員 佐藤 恒夫

委員 山本 英明

委員 竹崎 幸仁

委員 小玉 忠重

委員 源 正樹

委員 井関 陽一

委員 二宮 一朗

委員 森川 一義

委員 酒井宇之吉

1. 欠 席 委 員

委員 中村 敬治

1. 出 席 説 明 員

な し

1. 出席議会事務局職員

書記 瀧川 健二

1. 会議に付した事件

「地域医療福祉に関する市民説明会」での

市民からの意見について

委員会審査報告書について

その他

1. 会 議 の 経 過 別紙のとおり

開会 午前10時1分

○加藤副委員長

ただいまより第8回地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会を始めます。

委員長が御挨拶を行います。

○兵頭委員長

委員長が挨拶を行う。

○加藤副委員長

これよりの進行は兵頭委員長が行います。

○兵頭委員長

今ほど申しましたように地域医療福祉に関する市民説明会での市民からの意見について、各町それぞれ行かれたと思います。それぞれ思ったことを述べていただきたいと思います。順番にいきますと、明浜が最初でしたが明浜は正直言いますと、市民から意見がなかったというのが実態でございますので、何とも言いようがないんですが、どちらかの委員さん何かありましたらよろしく願います。

○酒井委員

今委員長が報告しましたように出席者 20 名。議員と職員を除きましたら 4 名ということでございましたんで、ただ非常にこれは後での話なんですすが苦情がありました。20 日の日に広報を配って、そして放送はしたけれども 23 日にやるっていうのはいかがかなと。そしてそんなにせっぱ詰まってやられたら出席者も少ないのは当たり前ということを私に言われました。それで言われたけれども、ぎりぎり結論が出て、正直言って明浜からやらないと最初から病院のある地域でやると非常に難しくなるんでそういうような順番になったよという話をしまして、早くやって広報がしっかりみんなのところに行き届いてなかったんじゃないかという話が出ました。また、これは後ほどまた出るんですけども、ある会場で出たのは意図して野村・城川を後にしたんじゃないかという意見が出ましたけれども逆だと思います。明浜とか三瓶を先にやったのが正解だったというように考えて記憶をしております。

明浜会場については、意見ありませんでしたし、説明も 20 分、市長の挨拶で説明が 20 分ということでございました。

○兵頭委員長

確におっしゃるとおり広報の関係で言いますと、まず届いてなかったというのが事実であります。これは何か行政からも聞きますと 12 月の 15 日ですかね、中間報告がまとめて出たということで、それから以降に載せるいうたら 1 月号は 12 月ですかね、もう間に合わんということで 2 月号に載せると、どうしても 1 月 20 日以降に広報が回るということで、ただ日程的なものもありますので、どうしても明浜のとは広報が届く前に開いたという形で見方によっては確かに、明浜は意見が少ないけんと言う方もありますが、実際問題参加者も 1 番少なかったというのが事実でありますし、これはやはり行政としての一つの手落ちではないかと私も思います。やはり全部広報に載せて、それ以降に開催するのが本当ではあったとは思いますが、市長の都合や行政側の都合いろんなことが重なって、そういったことになったかと思しますので、そこら辺はちょっと委員長報告の中に入れてかどうかはまだ決めてませんが、1 度そこら辺は練っておく必要があろうかと思えます。

続きまして三瓶のほうは。

○中村委員

竹崎委員が御都合で出席がかないませんでしたので、これについて私のほうから、ほかの委員も何人も来られていました。今日は議員の意見を聞きたいんやが聞いたらいけんと言われたのでやめたというのっけからそういう結構過激な話がありまして、二次救急の集約ということについては、やってもらわないと三瓶は困るんじやという意見が大勢でありました。二次救集約して三瓶の 125 件が宇和の病院に行ったときに対応できるんですかみたいな質問がありまして、公設民営化のことよりもそちらのほうに二次救急の集約ということに意見や質問が集中したような気がいたします。行政に対する指定管理者制度の導入についての反対意見は余り出なかったように記憶しております。これはほかからも出席されてる議長もおいでましたし酒井委員もおれましたし、ちょっと補足していただいたらと思います。よろしく願います。

○兵頭委員長

三瓶に行かれた方で、何か気の付かれたことがありましたら、また補足をお願いしたいと思います。

○酒井委員

私も出席しておりましたけれども、やはり地域柄二次救急ばかりでこの指定管理のほうはほとんど質問がなかったということです。いろんな人の意見を書いておりますけれども、先ほど言いました議員に聞きたいとお話がありましたけれども、今日はその場ではないという返事を理事者側からしていただきました。そういうことがあって、三瓶の特異性で結局データを見ますと診療するのが69%が八幡浜と大洲になってますんで、その二次救急になったときに、ちゃんと八幡浜病院と話し合いがついているのかというような質問だとか、地域柄二次救急に対することがほとんどでございましたので、そして財源の問題の3億から3億5000万の話もどこ行っても出ましたけれども、実際は、現給補償だとかそういう質問は出ましたけれども、大した質問ではございませんでした。地域柄どうしても二次救急の自分たちが運ばれるときに、そして野村まで運ばれるのは、もういかんともしがたいということがありましたんで、指定管理にしたときはもう二次救急ははっきり言えば宇和のほうにしてほしいという規模の話でございました。

○兵頭委員長

二次救急の話がほとんどだったということで、地域柄もあろうかと思えますし、そこら辺も指定管理の話もほとんど出なかったという点も、私、野村・城川からいくと全く反対の方向に意見が出たみたいです。三瓶でほかに何かありましたら。

○酒井委員

三瓶の現状を見たら2025年4月からの救急とかいろんなものが考えてみますと、三瓶の対応ではB案しかないというはっきりおっしゃられた方がございました。

○兵頭委員長

B案いうのは無床化ですよ。そういった方もいらっしゃるかと思えます。

そしたら次は宇和になりますが宇和の方でどなたかお願いいたします。

○源委員

人数的に言うと約90名。ただしぱっと見た感じなんではっきりは言いませんけど職員が半数、議員が約10名で病院の組合の皆さんが5名程度、ぱっと見るに一般の方は10名から15名ぐらいじ

やなかったかなと思いました。一般の方がやっぱり余り興味を示してないというのが宇和の現状かなと思います。質疑自体は約10名ぐらいの方がされました。割合焦点になったのは職員の処遇に対する組合の方が2名程度発言されて、それを除くとしても在り方について、ただしちょっと宇和の場合今度4月に立候補するような方が3名発言されてしまって、言い方悪いんだけどちょっと場としてはふさわしくないなというふうに思いました。1名だけちょっとうにやうにやとわれよったんですけど、もう病院は宇和病院一つで良いんじゃないのっていうふうな形で発言された方もおりました。会場の雰囲気的には、割合静かな感じだったかなと思います。それはあくまでやっぱり一般の方の参加が非常に少なかったのが気にかかりました。

○兵頭委員長

ほかに何か補足の意見がありましたら。

○加藤副委員長

源委員の言われたとおりではあるんですけども、実際に帰り際に、副院長が私に話があるみたいと言われました。病院の副院長の中村先生が言われたのが、全く行政が言ってることが一定でないのでなかなか自分たち医者としても医療従事者の方に話すときになかなか話しづらいところがあると。それとまた地域医療振興協会との話も何回もお願いしているんですけども、1度もないので、またそういうところもあって、医者としてもなかなか大変な立場にあるので、しっかりと行政に働きかけて職員の方が納得できるような形をとっていただかないと、もう10人ぐらいやめてしまったということと言われたので結構できる方とはっきりおっしゃったので、もう少し行政のやり方を議会もきちんとやるように働きかけてほしいというようなことをおっしゃいました。

○兵頭委員長

そういう意見もあったそうですが、それは議事録に載らないいうか個人的に言われたみたいですので、副委員長という立場もあろうし、そこら辺はちょっとどうかという点もありますが、確かに、私どもも協会と話し合ったのがつい先日ぐらいいでしたので、協会側も中間報告も出す前に議会ともなかなか話が出来なかったいうところもあろうかと思えますけど、実際、行政側何回か打合せを

している、ただ議会には何もないというのが実際であって市民病院の副院長が言われるのも何となく納得は出来ますけど、かといってそれはみんなの前で発表されたやつじゃないんで、それを議論にするのはちょっと難しいかなという点もあります。一応参考にはさせていただきます。

○中村委員

三瓶に戻るんですけど、さっき言い忘れましたけど人数だけは満杯でむんむんという熱気の中でされましたので、それから議員と地域医療振興協会との話合いが持たれたやに聞いているが、中身はどうやったんぞという質問がありまして、それを議員に聞きたいみたいなことだったと思うんですけど、これは理事者の医療介護部長が引き取って大ざっぱな粗筋についてはレポートしていただいて御了承いただきました。

○兵頭委員長

また何か途中でも構いませんので、何か気がついた点がありましたら。

○酒井委員

三瓶でもう1点最後にありましたのは、これ地域医療ですから我々特別委員会は、市民病院の体制だけじゃないんで、三瓶の診療所の先生の契約の話が出まして、いつまでやってもらうかその不安感が三瓶の人たちにはあるようでございます。それで、新しい1年ごとの契約は済みましたという答弁がありました。

○源委員

宇和のほうで付け加えます。今中村副院長の話があったんですが、質問者の方から、市民病院菊池院長に対して現状を問うような質問があって、院長からは病院の現状についての説明があったかのように思います。1番最後に質問というか意見表明された方が皆さん御存じだと思うんですけど、旧宇和病院の院長ずっと長い間されております小島先生いらっしゃいまして、小島先生が最後言われたのは医療に従事している方のことを大事にしてほしいと、地域の住民の皆さんの不安をできる限り払拭してほしいみたいな2つの意見を述べられておりましたのでそれは付け加えさせていただきます。

○二宮委員

ほとんど言っていたいたんですけども、市長に対してというか、中間報告に対する市長の見識

ということも質問としてありましたし、民営に対する認識が甘かったんじゃないかというような御意見もありました。

○兵頭委員長

市長に対する質問はもう野村・城川でも相当出たところではありますが、宇和は私も行かしてもらいましたが、どちらかという宇和に集約という形になつとるんで、やはり一般の方も余り何言うんですかね源委員が言われたように興味がないというか、人数的にはそこそこ来られとったんですけど、ほとんど何らかの関係者が来られとったというようなイメージがしております。来たとしてもそんなに文句言う人はおらんと思います。これから始まる野村・城川はなかなか大分ありますということで、続きまして野村のほうで、何かまとめていただきたいと思います。

○井関委員

先ほどいろいろ出てるように野村はもう本当に紛糾しまして市長に対する意見もいろいろあったんですが、野村として1番お願いしたいって言われてるのが、もう無床化はあり得ないということで、理由の一つとしまして、つくし苑の運営上入院ができる施設と隣り合わせでないとなかなかつくし苑の経営そのものが難しいんじゃないかなということを言われまして、それに対する回答はなかなかなかったわけなんですけど、医療介護部長がもし野村病院でなくなれば市民病院で受けざるを得ないなという答弁だったんですが、そんな話では全然駄目でしょうというような感じの雰囲気がありました。

そして30床に減らすということなんですけど、最低でもこの30床は残してほしいという意見が大半だったんじゃないかなと思うんですけど、全体の中で最初無床化についてもちょっと話があったんですけども、会場の雰囲気としましては、もう途中からは30床は残るといふ雰囲気の中での話になりまして、30床を最低でも残していただけるつもりでの話がメインだったんじゃないかなと思います。

そしてまた具体的にいろいろな話が出まして、減価償却費4億5000万は市が払うのか、どちらが払うのかというような具体的な内容、委託した場合の内容についてもいろいろ質問が出まして、全体で11億ぐらいのお金の中7億5000万が国か

らの交付金でやってくる、あと残りの分を西予市が3億5000万払っているというような話から始まりまして、実際に委託をした場合の減価償却費の話なんかも出ておりますので、そこら辺の対応がしっかりとした1人が言われたんですが、表にしてみても30床をやった場合、無床にした場合のシミュレーションをしっかりとした表としてあらわしてほしいというようなことも言われました。

また、診療報酬についてなんですけども、急性期病床がなくなって包括ケア病床になると何か入ってこられた方に対して検査をするのにMRIとかCTとかを撮った場合にその診療費までは出すことが出来なくなるので赤字経営になってしまうので、そういう検査をしなくなるんじゃないかなというようなことで急性期の患者さんの受入れが難しくなるんじゃないかなというようなことが言われました。この包括ケア病床でも急性期の人を受け入れることはできるらしいんですけども、受け入れるに当たって検査体制がとれなくなるんじゃないかなという心配をされておりましたので、その辺も含めて、これは会場では出なかったんですが後私のところに言うてこられた人その経験者の人が、せめて10床でもいいから急性期を残していただいて、そして包括ケア病床と一緒にしてもらうことができるのであれば、その検査もできるし、それができるかどうかはその方も分からないと言われたんですけども30床という、もう病床は仕方ないとしても急性期の病床も残してほしいなということをちょっと言われたんですが、これはもうその会場が終わった後の話です。一応その辺かなと付け加えがあったらお願いします。

○小玉委員

院長の守田先生がやめるということを前提で言われました。それは宇和病院が赤字でその赤字を野村病院が負わないけんのかと。3億5000万ぐらの繰出金のほとんどは市民病院のためにつくし苑も収支とんとか若干赤字かな、野村病院もそんなに繰出金はもらっていないという発言でした。1番は30床の問題なんですけど、野村は地域医療とか施設とかいろいろ持っておりますんでぜひ入院する施設を残してほしい。これがなければなかなか地域医療も成り立たないというような意見が多かったと思います。

○兵頭委員長

野村は皆さん何人か行ってもらったんですけど、最初の椅子がすぐ足らなくなりまして、あとどンドンどンドン椅子を出して150とは言わんと思うんですけど、かなりの方が当然医療関係の方も来られったんですけど、一般の方もかなり大多数が一般の方やったと思います。やはり関心度が違うんだという点は感じました。これ城川も一緒なんですけど、いきなりの説明ではありましたが病床がないというのが1番やはり話聞いたらやっぱりそれが1番気になるという、いろんな意見の中でそれが1番やったかなと私もその辺は感じました。

後野村に関してはないでしょうか。

○二宮委員

もう1点最後のほうに言われたのは、指定管理するんやったら不採算の市民病院からしてはどうかという意見がありました。

○井関委員

市民病院だけっていう形で野村病院とつくし苑は今のまま公立の状態に残して、市民病院だけを指定管理すればっていう意見でした。

○兵頭委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午前10時28分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午前10時32分)

次に城川の件をお願いします。

○山本委員

城川も野村と同様に会場130、140人ぐらい来られていますけども、いっぱいになって椅子をどんどんどん入れるという状況で非常に住民の方、意識の高さといいますか、たくさんの委員も来ていただきましたので雰囲気も分かっていたと思うんですけども、これ会場で言っていなかったんですけどその終わった後、何人か私んところ来られて何か城川住民だけの声やなかったような気がしたなあいう方が何人かおられて、何か混ぜられたような気がしたところあったんじゃないけどもうちょっと城川の端々の声をもうちょっと言うたらよかったけど言える時間がなかったんよ言っただけの方が4、5人おられて、分かりましたまた言うときますそういう答えはしたんですけども、その会の中では今回のこのやり方といいますか、指定管理を目指すという市長が言われたことに対してその市民への周知の方法等のやり方と、若干

言葉悪いけどまずかったようなところがあったけども行政の立場も理解できると。人口減、予算減の現実を理解ができるのもうちょっと住民のことを考えて頑張っとうまくやってほしいというようなことを建設的な意見を言っていたいただいた方もおられたんですけども、野村と一緒に病床がなくなるのはもう絶対困ると、市民病院は申し訳ないけど城川の山のほうでは遠過ぎる、救急車で行きよったら命がもうなくなるという、私も窪野というところがあるんですけどその奥のほうのおじいちゃんおばあちゃんに話を聞きに行ったんですけども、山本さんわしら諦めとる、病気になって倒れたら救急車呼んでも間に合わんけん諦めとるんよって言われて、そういうなこと言いなんなよって話はしたんですけど、ヘリコプターでも来てもらわんことには無理なこと市民病院行っても宇和島行っても距離が距離なんで諦めとるようなこと、これはこの間の会とは全然関係ないんですけどもそんなこと言われた方もおられて、そこまで意識された方々もおられるやなというような気がしました。

この間の会は市長に対する意見質問、非常に多数野村と一緒に委託料、それから差額出すことの予算はどこから出て大丈夫なのかという意見たくさん出ておりました。野城会の方も言われたと思います、野城会のいろんな施設があってその入院先の提携が野村病院としかやってないので、野村病院がなくなってしまうと本当に困るというふうな切実な意見等もありました。

つくし苑のこともあるので急性期病床も含めて残して、包括ケアだけではちょっと困るぞ。野村の意見と一緒になんですけども、急性期病床も残してもらえば野村病院の病床は最低 30 とか残してほしいというような意見だったと記憶メモしております。たくさんの委員来ていただきまして本当にありがとうございました。言い忘れてることたくさんあると思いますんでまた補完していただいたらと思います。

○兵頭委員長

今城川での意見集約ですが、なんかほかに気がつかれた点、御意見がありましたらお伺いしたいと思います。

1つ公共交通の件で、足がどんどん遠くなりよるけん言うたら、浅野部長がちょっと公共交通の

ことをちらっと言われたんやけど、どうしますとまでは言われなかったんで、そこら辺は恐らく公共交通いえば宇和島自動車しかほとんどないんで、そこら辺の当然A案なりB案でも宇和が中心になるというのは間違いないと思うんで、公共交通のことは、この当委員会でもその点はもうちょっと地域に配慮したようなバスの便数とかいうやつは何か入れとったらええんかなという今ちょっと思いついたんですが、そこら辺どうでしょうかね、浅野部長がちらっとしか言わなかったんですよ。そこでおしまいやったんで。

暫時休憩を告げる。(休憩 午前10時38分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午前11時15分)

今までの5町でのそれぞれの報告の中で、いろんな意見出していただきました。住民の方からの意見の集約をしていただきました。この集約のまとめというかこれはどのようにいたしましょう。もう集約は集約として、委員長報告の中でこういった意見があったとかいう方向ぐらいでよろしいですかね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○兵頭委員長

そしたらそれぞれの町の意見の何点か集約したやつをいずれ委員長報告の中に下書きを皆さんにお配りしてチェックしてもらおうと考えておりますんで報告前に、そういったことで各町の意見はそういった形で集約してもう1点か2点ずつぐらいしか出せれんと思うんですけど各町の意見、そういった形でさしてもらってよろしいでしょうかね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○兵頭委員長

そしたら1番の地域医療に関する市民説明会での市民の意見については、そういった形で取りまとめて報告を皆さんにお知らせするようにいたします。

それでは続きまして、委員会審査報告書についてをお諮りしたいと思います。先ほどもちらっと出ておりましたが、委員長報告が一応21日の予定にしておりますけど、条例改正の議案が同日に出るうかと思えます。そうなるとこの特別委員会に議案審査付託されるんで、委員長発言もこの条例が出るのであれば中間報告とか経過報告ぐら

いしか出来んと思います。条例改正が出て、それを審査して、その審査は最終日ぐらいに委員長報告で最終という形になるかと思いますが、流れはそういう形になるかと思いますが、それで皆さん御理解いただけますかね。

○酒井委員

条例案件が出ましたら今回の場合は厚生常任委員会とか特別委員会に付託されると思います。したらその採決をとらんとはいけません。それが最終の委員長報告ということになると思います。

○二宮委員

委員長報告はもうこの3月で要するにこの特別委員会の決着をある程度つけるということなので、中間報告というよりはやっぱり意見を聞いた中で今後まだ決定ではないわけですよ、民営化までの間に行政に求めることみたいなことも多少その意見の中から議会として、もう少しその住民に分かるようにさっき僕が言ったようにそのデータを出すとか、そこはちょっと僕もよく分からないけど、そういうことをちょっと何か提案的なことも入れたほうがいいんじゃないかなと思います。

○酒井委員

財源のデータをやはり各地区その質問があって、交付税の11億そして3億5000万そして減価償却4億そういうものについてのことも入れられたらどうでしょうかね。ある程度曖昧な言い方ばかりでどこの市民に聞いたって、何か曖昧なような財源が答え方もちょっと曖昧になっとるんよ。

○兵頭委員長

今ほどの提案は確かに特に減価償却がどうのこの言う質問があったときも、個別に対応しますので後で来てくださいというような、そういう言い方されよったんやけど、なかなかそこら辺細かに説明するいうたらここへ来てもらって説明されてもえんかなということもありますけど、ここへ呼ぶわけにいかんのでどっちにしてもその財源が減価償却等の説明は私も聞いてから委員長報告の中に入れるようじゃなかったら、それも当然どういった減価償却のやり方をしとるんかというぐらいの報告は入れるべきじゃろうかなとは考えております。

暫時休憩を告げる。(休憩 午前11時21分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午前11時29分)

今ほどの委員長審査報告書についてですが、御提案があります。まず2月21日に一応委員長の中間報告という形になるかと思いますが、それで21日以前に13日に議運があります。そこで、条例改正が出れば、当然特別委員会が審査するようになりますので、21日以降に条例改正の審査をします。議会最終日まで、最終結論の委員長報告を出す形になるかと思いますが、皆さんもそのつもりで心してやってもらったらと思います。

暫時休憩を告げる。(休憩 午前11時30分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午前11時31分)

今ほど説明したとおりに進行してまいりますので、皆さんの御協力をよろしくお願ひしたいと思います。

続きまして3番その他ですが、場所が決まったんでちょっと説明してください。

○瀧川議会議務局長

2月9日の医療介護支部との意見交換会ですが、会場が教育保健センターの4階大ホール、前回やったときと同じところで連絡ありましたのでお知らせいたします。

○兵頭委員長

ただいま次長から、西予市職員組合医療介護支部との意見交換会ですが2月9日6時半から教育センター4階ホールということになりましたので、皆さん御出席のほどよろしくお願ひします。また急な日程ですので、都合の悪い方はまた御連絡していただいたらと思います。その他何かありましたら。

[発言する者なし]

○兵頭委員長

暫時休憩を告げる。(休憩 午前11時33分)

○兵頭委員長

再開を告げる。(再開 午前11時36分)

その他意見がないようでしたら閉会に移りたいと思います。

○加藤副委員長

これをもって第8回地域医療等西予市立病院等の在り方調査特別委員会を終わります。

御苦労さまでございました。

散会 午前11時38分

西予市議会委員会条例第30条第1項の規定によりここに署名する。

地域医療と西予市立病院等の在り方調査特別委員会委員長

兵頭 学